

平成23年度香川大学大学院修了式 学長告辞

大学院を修了された諸君に心からおめでとうと申し上げます。

諸君はそれぞれの専門領域で優秀な指導教員の下に研鑽され、今、最も自信と将来に対する明るい希望を持っている事と思います。諸君の中にはさらに博士課程に進む者と専門家として社会に出て、今まで学んだ知識や技術で更なる発展を期している方もいるでしょう。

諸君もご存知のように、現在は大学の知の専有性がくずれ、社会全体で知を担う様になった結果、大学と社会が相互にもつ活力を取り込み、自ら活性化させる枠組みとなりました。この様な社会構造の中で、諸君のこれからの活動は一般社会との連携や協力なくしては発展しないという事を理解して下さい。

私の経験からは、諸君は学修した得意の分野で蕾か新芽をつけたところといった段階でしょうか。これから大きく花を咲かせるか、あるいは枝葉を伸ばすかは、地域社会や異なる領域の方々との知の交換やコラボレーションのあり方にかかっていると思います。

私がお願いしたいのは、生涯にわたって社会全体の知を吸収する努力とともに、間口や懐を広くして多くの人材と連携・協同し、とてつもない大きなプロジェクトを立ち上げる気概でやっていただきたいと言う事です。

大学に残る方々は、他学部との連携研究や文理融合研究をさらに推し進めていただき、さらには社会との連携で今まで育んだ知識や技術を社会に還元する事を期待します。香川大学はその様な研究を支援致します。

ここで諸君に私から「セレンディピティ」という言葉を贈りたいと思

います。この言葉は、幸運によって何かを発見することと誤解されていますが、本来は仔細な兆候を見落とさず、大きな結果に結びつける事を意味しています。

“ 天才は99%の努力と1%のひらめき ” という言葉の “ ひらめき ” を得る能力の事ことであります。 “ ひらめき ” は決して幸運によるものではなく、蓄積した経験と長い間、培った観察眼の結果なのです。

これからも諸君のひらめきと潜在能力を発揮して、社会にはばたく方、引き続き勉学にいそしむ方、共に大きく結実する事を切に望みます。

諸君の将来に乾杯

平成24年3月24日

香川大学長 長尾省吾